

地域活性化の中核を担う「豊田前地域協育ネット」の推進

【美祢市 豊田前中学校区】

地域の概要

豊田前地区は美祢市の西部にあり、観光地秋吉台カルスト地帯に連なる山間の地です。人口は最盛期の昭和38年頃の9800人で、炭坑町として栄えましたが、過疎化が進み、現在1300人余りです。

過疎化対策として、美祢社会復帰促進センターが建設され、人口定住に努力しています。産業の中心は農業であり、ほとんどが兼業で共働きの家庭が多いことが特徴です。

人口	1,336人	
世帯数	640世帯	
対象校及び児童生徒数	豊田前中学校	19人
	豊田前小学校	46人
	桃木小学校	5人

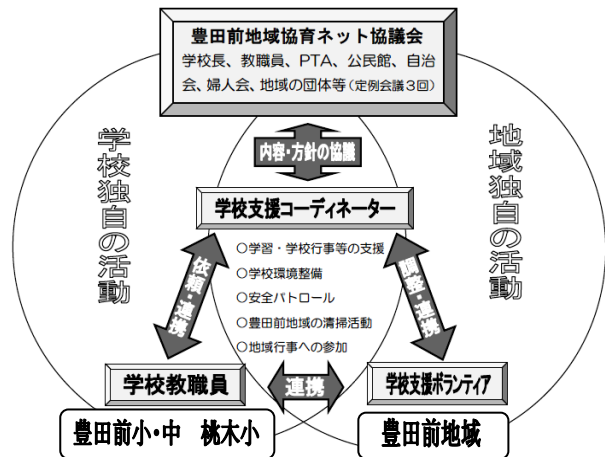
組織の内容

平成20年度から3年間委託された「学校支援地域本部事業」の際に設立された「豊田前地域教育協議会」が組織の前身です。平成23年度からは補助事業となり、組織名も「豊田前地域協育ネット協議会」と改名し、新たに小学校関係者も加わって、今年で3年目を迎えています。今年度の協議会には桃木小学校も参加し、豊田前地域の風土・特色を生かした学校支援の在り方を中心に協議を進めています。地域から支援ボランティアを募集し、支援の拡充を進め、できるだけ多くの地域の方と児童生徒の交流を図るとともに、学校も地域に貢献するための方策を探り、よりよい連携・協働の在り方を模索しています。

運営予算の合理化に伴い、事業の内容について、より知恵と工夫を凝らしたものが必要となりますが、今後も地域活性化の中核を担いながら、学校、地域、行政が一体となって、地域の子どもたちを見守り、支援するためのよりよい仕組みづくりの推進をめざしています。

豊田前地域協育ネット協議会の構成

会長（1名） 社会福祉協議会（2名）
公民館運営審議会（1名） 婦人会（1名）
地域見守り隊（2名） 市体育指導員（1名）
県スポーツ推進委員（1名）
小・中PTA会長（3名）
小・中学校長（3名） 中学校教職員（2名）
計 17名



特色・重点的な取組

地域と連携した教育活動は6年目を迎え、地域住民の学校教育への協力体制は、ごく自然なものとなっています。中でも、地域の婦人会や老人クラブ等の高齢者とのつながりが深く、生活体験活動や伝統文化の継承活動に特色があります。ふるさと豊田前の「人と暮らし」を題材にした多様な体験活動は、子どもたちの健全な成長を育むと同時に地域の高齢者に元気と活力を与えています。

主な活動の紹介

ふれあい体験学習活動

☆地域の方々と共に活動しながら世代間交流を深めています。



樹木の名札付け：桃木小



田植え体験：豊田前小



絵手紙づくり：豊田前中



生け花体験：豊田前中

伝統文化継承活動

☆日本の伝統文化にふれ造詣を深めています。



わら細工とお手玉づくり：桃木小



豊田前音頭の受指導：豊田前小



昔の遊び体験：豊田前小



凧づくり：豊田前中

地域貢献奉仕活動

☆地域への「恩返し」活動です。



地域清掃活動：豊田前中

その他、桃木小学校ではグリーントimeを利用して、地域（通学路）の清掃をしています。

成果と課題

学校支援地域本部事業から通算6年目を迎え、地域と連携した教育活動は、学校と地域の垣根を年々低くし、「地域の子どもは地域で育てる」という意識が定着してきています。活動を通して、児童生徒と地域の様々な人々とのふれあいは、多くの地域住民に活力を与えるとともに、児童生徒の心の成長の一助となっています。学校教育だけでは補いきれない様々な知恵や感性、そして多様な人間性とのふれあいは、次代を担う子どもたちの確かで望ましい育ちを支えています。

しかし、継続して活動していくための課題も山積しています。中でも、地域コーディネーターの養成、学校支援ボランティアの高齢化などは深刻な課題です。地域の全住民に対して、学校運営に参画する姿勢と気運をどう高めていけばよいのか、地域とともにある学校づくりに向けて、今後も学校・行政によるグランドデザインの説明により地域住民の理解・協力を得ていくことが重要です。

今後の取組

これからも、地域の活性化を担う交流拠点としての役割をしっかりと認識しながら、地域のニーズを把握することが大切であると考えています。また、地域協育ネット協議会と豊田前地区公民館運営審議会の連携を拡充し、「地域とともにある学校」の在り方等について議論を深めながら、地域における人づくりや地域活性化など、地域の諸課題に対する提言と具体的な課題解決策を立案し、地域の様々な団体が協働して実践していく体制づくりが肝要であると考えています。